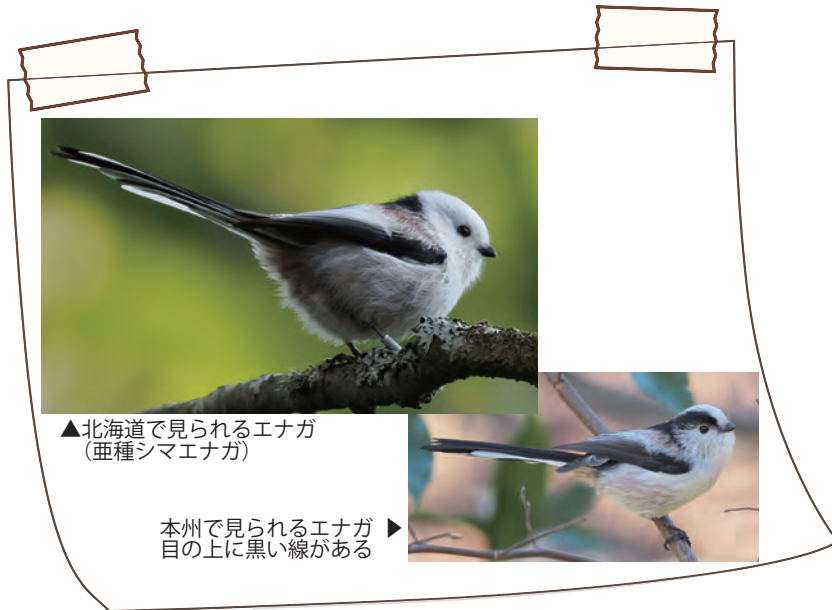




ネイチャーセンターだより

2024年11・12月号

新・いきもの図鑑



▲北海道で見られるエナガ
(亜種シマエナガ)

本州で見られるエナガ
目の上に黒い線がある ▶

【参考文献】

河井大輔他. 2004. 北海道野鳥図鑑. 亜瑠西社.
中村他. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>. 保育社.
eBird. エナガ. Cornell University. 2024.
<https://ebird.org/species/lottit1> (2024/10/11 閲覧)

エナガ (柄長)

体長(くちばしの先から尾の先までの長さ)は約14cmとスズメと同じくらいですが、そのおよそ半分を尾が占め、体は小さく丸いのが特徴です。日本全国の林に生息しています。近年、巷で大人気になっている顔全体が白いシマエナガはこの亜種(同じ種の中で、繁殖する地域などによって体の大きさや色が違うグループのこと)です。亜種シマエナガは、日本では主に北海道に生息していますが、海外ではヨーロッパ、ロシア、中国、韓国などに広く分布しています。

林に一年中生息しており、木々の葉が落ちる秋冬に観察されやすいです。シジュウカラやハシブトガラ、ゴジュウカラなど他の鳥と一緒に群れをつくることもあります。チーチーやジュリリという声を頼りに探すが見つけやすいです。短いくちばしで、アブラムシなどの小さな虫をついばんで食べ、まれに樹液を飲み集まっていることもあります。

久しぶりのマガン確認&お帰り! オオハクチョウ

NEWS

10月7日12時ごろ、春国岱南側から2羽のマガンが飛来し、キタキツネコース木道周辺の泥炭上に降りました。春や秋の渡りの季節に風蓮湖全域ではマガンが見られることがありますが、過去の記録を調べてみると、春国岱での確認は2013年以降のことでした。今回春国岱に降り立ったマガンは、その後オジロワシが上空を飛び、オホーツク海側へ飛んで行きました。



▲春国岱に降り立ったマガン2羽

10月10日、道の駅スワン44ねむろで、風蓮湖内にあるオオハクチョウ10羽(成鳥2羽+幼鳥4羽、成鳥2羽+幼鳥1羽の2家族と、成鳥1羽)を確認しました。毎年秋になると北の国から渡ってくるオオハクチョウ。体が灰色なのは今年生まれの子どもです。風蓮湖で長旅の疲れを癒し、エネルギー補給をすると、本格的な冬になる前に多くが越冬する本州へ旅立ちます。

11月にはオオハクチョウなど水辺の鳥を観察する観察会を行います。初めての方もお気軽にご参加ください。(観察会の詳細は裏面をご覧ください)

見どころMAP

★冬期の木道除雪は行っておりません。足元に注意してご利用ください。
★風が強い日は気温以上に寒くなります。散策の際は防寒対策を！



海上や湖でカモ類、カモメ類がよく観察できます。

樹上や上空にオオワシやオジロワシが見られることがあります。

カラ類やゴジュウカラ、エナガなどの混群が見られることがあります。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

11・12月の見どころ予報

凡例
 ◎ ぜったい見られる (と思う)
 ○ ちょっと気をつければ見られる
 + よーく気をつければ見られる
 ・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ	11月	+	立枯木や消波ブロックの上、砂丘の上にとまっていることが多く、カモの群をおそっているのを見られることもあります。上空も注意してみると、飛んでいる姿を見られるかもしれません。
	12月	○	
タンチョウ	11月	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで見られます。今年生まれの幼鳥は、頭から首にかけて茶色っぽいのが特徴です。12月に入ると釧路湿原に移動するものが増え、根室では見られる機会が減ります。
	12月	+	
オオハクチョウ	11月	◎	10月下旬の個体数調査では、風蓮湖・温根沼に合計2,003羽を数えました。厳冬期、多くは本州へ移動し、根室では少数のみが越冬します。
	12月	○	
カモ類	11月	○	11月、春国岱湾では、2,000羽を超えるカモ類が観察できます。12月は、多くの種類が南へ渡っていくため数が減っていきませんが、根室湾では、クロガモやウミアイサ、ホオジロガモなどの海ガモ類がよく見られるようになります。
	12月	+	
カモメ類	11月	◎	シロカモメとオオセグロカモメがよく観察できます。ウミネコやユリカモメは南へ渡っていくため見る機会が減り、ワシカモメは少数が観察できます。
	12月	○	
春国岱	野鳥 (森)	カラ類やコゲラ、アカゲラなどが見られます。運が良いと、クマガラの鳴き声が聞けたり、森の上を飛ぶ姿が見られます。	
	けもの	エゾシカ、キタキツネが見られます。	
自然学習林	野鳥	ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、エナガ (シマエナガ)、キバシリ、キツツキ類 (アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)、カケス (ミヤマカケス) が見られます。	
	けもの	エゾシカがよく見られ、稀にエゾリスが見られることもあります。	

エゾシカによる樹皮はぎ対策

トピックス

10月21日（月）に開催した「春国岱ゆるふわボランティア体験」では、東梅自然学習林にて、エゾシカに食害された木の幹に使い古しの漁網を巻き被害拡大を防ぐ活動を行いました。

当日朝は市内で初霜や初氷が張った場所もあったようですが、活動時には天候にも恵まれ日差しの降り注ぐ中での活動になりました。メンバーは施設ボランティア「スंक」から6人と、お申しいただいた2人の参加者。先月のスंकの定例会で巻きつけの予行演習をしていたことと、参加いただいたお二人も含めたチームワークで、1時間の活動で手際よく8本のハルニレの木に漁網を巻きつけることができました。根元に目をやると、地面にしっかり張りながらも土から一部が出ている根っこにも樹皮はぎの痕が見られ、そこも網で覆うように丁寧に作業をおこないました。

作業だけでなく自然観察などもしながら、終始和やかな雰囲気秋の森を楽しみました。まだまだ、保護したい木はたくさんあるため、引き続きスंकの定例活動日に作業を行っていく予定です。



スंकの活動に興味がある方や見学されたい方は、お気軽にお問い合わせください。

「高病原性鳥インフルエンザ」ご注意ください

今シーズンもすでに、北海道内で3件の高病原性ウイルス発見（うち1件はオジロワシから発見）が報じられており、環境省は対応レベル3（警戒度最大）に引き上げています（10月27日現在）。ウイルスを広めないために、水辺で野鳥観察をする場合には、以下のようにご注意ください。

1. 野外観察の後は、くつの底や車のタイヤをしっかりと洗い、アルコールやうすめた塩素系の漂白剤などで消毒する。帰りに動物園や農場には立ち寄らない。
2. 野鳥のフンや羽毛をできるだけふまない、さわらないようにする。もしさわった場合は、流水とせっけんで手をよく洗い、うがいをする。
3. 生きている野鳥や野鳥の死体には、素手でさわらない。
4. 弱った野鳥や死んだ鳥（特に水鳥、カラス、猛禽類など）を見つけた場合は、根室振興局に場所や状況を知らせる（電話 0153-23-6823）。

春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

【問合せ・申込先】

春国岱ネイチャーセンター

電話：0153-25-3047

Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp

◆11/17 初心者向け水鳥観察会

風蓮湖に渡ってきたオオハクチョウやカモなどの鳥たちを観察します。

- ◇日時：11月17日(日)9:30～12:00 ※風雨の強い時は11月24日(日)に順延
- ◇集合／解散：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター／春国岱駐車場
- ◇対象：小学生～おとな（小学生は保護者同伴）
- ◇参加費：1人100円
- ◇定員：20名（先着順）
- ◇服装・持ち物：長靴、防寒具上下、手袋、帽子、飲み物、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡（貸出しあり）
- ◇申込締切：11月15日(金)16時



申込方法：メール、電話または直接。
参加者全員の氏名、連絡先、小学生は年齢・学年もお知らせください。

◆12/1 木の実と生きもののお話し&ミニクリスマスツリー作り

木の実と生きもののお話しと、森の恵みを使ったナチュラルなミニクリスマスツリー作りをします。松ぼっくりやクルミの殻などで自由に飾り付けをしてオリジナルのツリーを完成させよう！

- ◇日時：12月1日(日) ①10:00～11:30 ②14:00～15:30
- ◇場所：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
- ◇対象：小学生～おとな ※グルーガン（ホットボンド）を使います。小学生は保護者同伴でご参加ください。
- ◇参加費：1人100円（保険代）+工作キット1つにつき500円
- ◇定員：各回4～5組（先着順）
- ◇服装・持ち物：汚れてもよい服装、軍手、筆記用具、作品持ち帰り用の袋（マチのある紙袋やビニール袋）
- ◇申込締切：12月29日(金)16時



◆12/15 冬の林でバードウォッチング

東梅自然学習林の小鳥の小道を歩きながら、野鳥観察をしてみませんか？木の葉が落ちた冬は小鳥を見つけやすく、初めての方でも野鳥観察に挑戦しやすい季節です。

- ◇日時：12月15日(日)9:30～12:00 ※荒天時は12月22日(日)に順延
- ◇集合・解散：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター ◇対象：小学生～おとな（小学生は保護者同伴）
- ◇参加費：1人100円 ◇定員：20名（先着順）
- ◇服装・持ち物：歩きやすく汚れてもいい靴または長靴、防寒具上下、手袋、帽子、飲み物、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡（貸出しあり）
- ◇申込締切：12月13日(金)16時



募集中！

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3月曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570

Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp



HP https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆開館時間 9:00～16:30

◆休館日：11月5・6・13・20・25・27日

12月4・11・18・25・29～31日、1月1～3日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制・2週間前までにご連絡ください）

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。

SNSでも最新の自然情報を発信しています！



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録